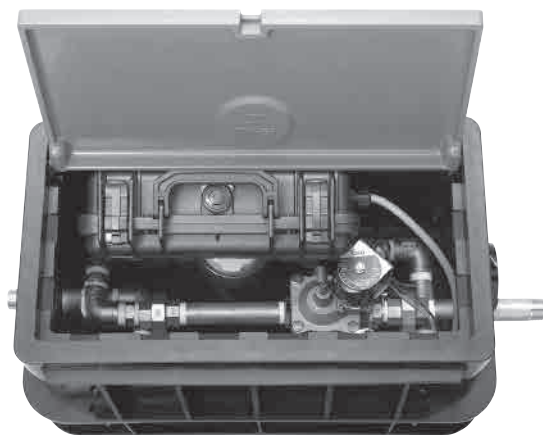


効率的な水質維持管理に寄与

栗本商事 ICT情報連絡会でパネル展示

栗本商事の「省スペース」管路の効率的な水質維持
入型自動排水装置が、管理に寄与する製品とし



量水器ボックスに収納した自動排水装置

て、注目を集めている。管路末端部などの滞留域では、残留塩素濃度が低下するため、定期的な排水が必要となる。細やかな排水管理にはマンパワーがかかることから、常時排水で対応する水道事業者も少なくないが、有収率の維持・向上という点での課題も存在する。

がるほか、排水管理にかかる職員の業務負担も軽減できることから、効率的かつ経済的な水質維持管理が可能となる。

電源は外部電源に頼らない乾電池方式を採用し、9Vアルカリ乾電池1個で約1年間の使用が可能。さらに、IP67相当の防水性能を持ち、量水器ボックスもしくは500以上の弁室に収納できるコンパクトな形状としたことで、設置場所の制約が少なく、設置も容易となっている。また、逆止弁付止水栓も標準採用しているため、クロスコネクションも防止できる。

今年24日に横浜市で行われるICT情報連絡会では、同装置のパネル展示やカタログ配布を行う。